

高円宮杯 JFAU-15 サッカーリーグ滋賀 2023 要項

1. 主催 (公社) 滋賀県サッカー協会
2. 主管 (公社) 滋賀県サッカー協会 3種委員会
3. リーグ構成
 - ① トップリーグ
12チーム(2回戦制)で行う。
 - ② 2部リーグ 2ブロック各9チーム
前後期制とし、前期(1回戦制)の結果により後期(1回戦制)は上位・下位リーグを編成して行う。
 - ③ 3部リーグ 2ブロックに分ける
前後期制とし、前期(1回戦制)の結果により後期(1回戦制)は上位・下位リーグを編成して行う。*参加チーム数による
 - ④ 昇格・降格基準は代表者会議で説明
4. 後援 甲賀市教育委員会
5. 期日 2023年1月～2023年10月
6. 大会役員

委員長	半田 央人 (ラドソン FC)
副委員長	奥野 高明 (Mio スポーツ)
	土川 晶夫 (Mio 東近江)
	川西 俊貴 (真野中学校)
	西島 健介 (FC REPLO)
会計	福原 孝洋 (八幡西中学校)
事務局(戦績管理)	木下 英樹 (COLORS)
競技委員長	卯田 貴之 (MIO びわこ滋賀U-15)
審判委員長	手島 剛也 (高穂中学校)
規律委員長	村田 弘法 (甲南中学校)
7. 参加資格
 - 日本サッカー協会に、第3種加盟登録したチームであり、中体連加盟チームもしくは滋賀県クラブユース連盟に登録を承認されたチームであること。また、そのチームに登録された選手11名以上であること
 - 会場準備等の協力及び審判の割り当てを果たせるチームであること。
 - 選手数が不足している同種間の複数チームによる[合同チーム]参加希望があった場合には、3種委員会役員会にて詳細を決定する。
 - ・ 合同は足りないチーム同士で3チームまで可
 - ・ 新規チームとし、3部リーグよりスタート(2部への昇格はできない)
 - ・ 4月の3種代表者会議の時点で、選手数の不足が解消された場合は合同を解散し、オープン参加となる。(所属ブロックについては代表者会議後に決定する)
 - 複数参加について
 - ① 1登録チーム(以下登録チーム)から複数チーム(以下参加チーム)の参加を認める。
但し、次の条件を満たすこと
 - ・ それぞれの参加チームは、個別のチームとして扱い、それぞれのチームに[連絡責任者][監督][審判員(原則として資格を持つものとする)]を置くこと。この3つは、同一人物でもよいが、参加チームを兼務することができない。
 - ・ クラブ申請をしているチームにおいては、1登録チームのメンバーが不足しているときは、4種登録(内、**6年生限定**)の選手の参加も認めるが、複数チームを参加させる場合の4種登録選手の参加は認めない。
 - ② 複数のチームを参加する場合の勝敗について
 - ・ 複数参加するチームは、TOP・2ND・3RD・・・とし、同一カテゴリーに参加することはできない。
 - ③ 複数チーム参加するチームでの選手の移動は下位リーグから上位リーグへの移動を認める。1回戦は同じメンバーで行い(上位を除く)、4月の代表者会議にお

いてチームの再編成を認める。この時には、上位リーグから下位リーグへの移動も認める。プロテクト選手制度採用チームはこの限りではない。

④サンライズリーグと本リーグ間、本リーグの1部から3部の間における選手移動については以下の通りとする。

・チームは出場時間実績に応じてプロテクト選手11名（GK含む）を指定する。

I：第1節～第3節（上位リーグ）

出場時間実績がないため、チーム選出とする。

II：第4節以降（上位リーグ）

直近の3節の出場時間上位10名（FP）とチームが選出するGK1名をプロテクト選手とする。

・プロテクト選手は、上位リーグのみ出場できる。

・プロテクト選手以外は、下位リーグの所属チームに出場できる

*プロテクト選手制度採用チームは試合ごとに必要書類提出

⑤GKについては、③④の限りでない。状況（GKの故障等によりチームにGKが0名となる場合）により、3種委員長の承認を得て、移動ができる。

⑥メンバー表には移動した日付を選手名の欄に記入し、上位・下位リーグの申し送り用紙のコピーを持参すること。

⑦極端な勝利至上主義による選手移動などが発覚した場合は3種役員会で処分を下す。

⑧以上複数参加についての規定に違反したチームは次年度のリーグ戦の参入は認めません。その次の年から3部リーグより参加を認める。

☆女子選手について

○中学校体育連盟加盟チームは、その中学校に在籍し、かつ、本協会の女子加盟チーム登録選手を、移籍手続を行うことなく、本リーグ戦に参加させることができる。

○上記女子選手をリーグ戦に出場させる場合の選手確認は、選手証（カラーコピーか電子証明書）で行う。

8. 審判

1部・2部リーグにおいては、主審・副審・4審全ての審判は資格を持つ大人（高校生以上）であること。ただし、3部リーグにおいても全ての審判が大人（高校生以上）であることが望ましいが、副審・4審については、選手可とする。ただし監督がレクチャーした選手がのぞましい。

9. 参加費

参加費なし

10. 競技方法

○2022-2023（公社）日本サッカー協会競技規則による

○試合時間は、全てのリーグが70（35-10-35）分とする。その際、アディショナルタイムの表示は行う。またリーグ戦は1日1試合とする。

○リーグ戦の順位は、①勝ち点 ②得失点差 ③総得点 ④直接対戦結果 ⑤抽選

○勝ち点（勝ち3点 引き分け1点 負け0点）

○ベンチ入りは、交代選手9名までと、監督コーチ5名までとする。交代は、一度交代した選手の再出場は認められない。

○給水タイムは、大会本部と主審で協議し、場合によっては実施する。

○警告を3度受けた選手は次の試合に出場できない。

○退場処分を受けた選手は、次の試合に出場できない。また、それ以降の試合については、大会規律委員会（大会役員会において協議し決定する。）

○退場処分を受けたチーム役員は、次の試合にベンチ入りできない。また、それ以降の試合については、大会規律委員会（大会役員会において協議し決定する。）

○試合開始時に8名以上そろっていない場合は、没収試合とし、結果は、5-0とする。

○ユニフォームの確認は、試合開始60分前とし、選手の確認は、5分前に行う。

11. ユニフォームについて

○シャツ 同いようなデザインであれば良い（製造中止等があるため）

○アンダーシャツ チームで同色であればメーカーや色の濃さなどの違いは認める。

○スパッツ チームで同色とする。

○ソックス 全員の主たる色が同じであれば、メーカー違いや少しのラインは認める。

○シヨーツ 全員の主たる色が同じであれば、メーカーの違いは認める。ラインについても同じようなものであれば認める。

12. メンバー表 試合当日は、メンバー表を持参すること。（試合数×2部を本部に提出する）
登録の確認は、選手証で行うため、3種委員長の確認印は必要としない。
（複数参加チームは選手の移動と累積警告を明確にすること）

13. 申し送り用紙 試合毎に申し送り用紙を提出すること。
（記入はフルネームとする、相手チームの分も記入する）

14. 選手証 電子証明のカラーコピーか、登録選手一覧で選手証の提示を行う。電子証明のカラーコピー等を忘れた場合は、電子機器等で選手証の提示を行う。選手証が提示できない場合は、試合に出場できない。

選手証の忘れのために試合が成立しなかった時は、没収試合とし、結果は、5-0とする。

15. 参加チームの責任

○会場準備・後始末は、該当するチームのスタッフと選手で行う。選手は、当日の第1、2試合のチームが準備を。後始末は、最後の二試合のチームが担当する。

○ゴミの後始末は、各チームで責任を持って行う。

○指導者・保護者の方は、駐車のマナーや、会場使用のマナーを守ること。会場での飲酒は認めない。たばこの吸い殻は、必ず持って帰ること（喫煙可の場所）。違反があった場合は、役員会で協議し、処分を行う場合もある。

○学校が会場の場合は、敷地内での喫煙は禁じる。

16. 試合日程の決定

○参加チームが確定次第それぞれのリーグの責任者を中心に調整する。

○期間内に全試合を行えるように日程を調整すること

○期間内に全試合を消化できなかった場合は、次年度のリーグ戦の参加を認めない。

17. 2023 高円宮杯滋賀県大会の出場権

1部2部3部から合計24チームで開催予定

1部リーグ10チーム（年間最上位チーム、2NDを除く）

2部リーグ11チーム（2ND・3RDを除く）

3部リーグ3チーム（年間最上位チーム、WC勝ち上がり2チーム。2ND・3RDを除く）

18. 高円宮杯関西大会の出場権

1部リーグ所属で関西大会出場の条件を満たすチームの内、年間リーグ最上位のチームと2023高円宮杯滋賀県大会優勝チームに与える。*但し、感染症等の影響で1部リーグ2回戦が全て消化不可となり完全な年間順位が決定出来なかった場合には2023高円宮杯滋賀県大会優勝と準優勝の2チームに与える。

19. サンライズリーグ昇格の権利

トップリーグ優勝・準優勝チームは、サンライズリーグ昇格戦に県代表として出場する権利を得る。

20. 新型コロナウイルス感染対策

・健康チェックシート（各自協会HPから用意して下さい。）

選手・スタッフ・審判員は、健康チェックシートを試合当日持参する。

健康チェックシートが持参できなかったときは、試合への出場、会場への入場ができません。

健康チェックシートには、試合当日より2週間前からの体温の記入が必要です。毎日の体温の記録をおねがいします。

健康チェックシートは、大会参加者が未成年の場合は、チェックシートの下部に保護者による確認欄への記入が必要となります。

健康チェックシートの保管は、厳正な管理のもと各チームでお願いします。

(試合が終了し、帰宅後1か月間の保管をしてください)

- ・観戦者(保護者等)
 - グラウンド(施設・敷地・フェンス)の外からの観戦が基本となります。
 - 会場により異なりますが、本部やチームベンチと逆側が観戦場所となることもあります。
 - 観戦場所については、会場責任者の指示に従ってください。
 - 観戦の際には、ソーシャルディスタンスを確保し、マスク着用をお願いします。
 - 声援についても、大きな声での声援はお控えください。
- ・ベンチや荷物置き場
 - 可能な範囲で広めに設定する。
 - 可能であれば、ベンチのテントを2つにしたり、建物の影等を利用する
 - 各チームが持ち込んだテントの使用することも可能とする
 - 荷物置き場も同様に、可能な限り広く設定する
 - 可能であれば、試合終了後にベンチやテントの消毒をする
- ・試合日程
 - 試合間の時間を長めに設定し、1会場に多くのチームが集まらないようにする。
 - (第1試合と第2試合の時間を1~2時間あけて、チーム間の接触機会を減らすなど)
 - 1日に1チーム2試合を行うときは、1会場に集まるチーム数を4チームまでとする。
- ・マスクの着用
 - 原則として試合中とアップ中以外はマスク着用する。但し、試合中であってもベンチに座る選手および指導者、スタッフはマスクを着用する。
 - 試合中にチームスタッフがコートに向かってコーチングを行うときは、マスクを外してもよいが、ベンチ(テント内)での指示をするときは、マスクを着用する。
- ・試合前後のセレモニー等
 - 試合前後のセレモニーや礼、握手は行わない。メンバーチェック時にトスを行い、メンバーチェック終了後にコートへ入り、試合開始する。
- ・円陣、ハイタッチ等
 - 円陣や得点時のハイタッチ等の身体接触による喜びの表現は控える
- ・飲水等で使用するボトルについては、各選手が自分の専用のボトルを使用する。ボトルを他の選手と共有することはしない。
- ・感染症発生時の対応
 - 保険所等⇔感染対策責任者(各チーム)⇔感染対策責任者(各リーグ・滋賀県3種委員会)
⇔滋賀FA
 - (公的保健機関への報告⇒PCR検査⇒濃厚接触者確定のための周囲への感染拡大状況の情報収集、関係書類の提出等の対応⇒関係者の隔離対策等)
- ・参加再開時期の期間決定等
 - 医療機関からのその後の対応の指示を最優先する。その情報から、チームとしての対応をリーグ運営担当へ連絡⇒3種役員会で審議し、滋賀県FAに報告し、指示を受けてその後の措置について各方面へ連絡を入れる。

※その他、詳細については、監督会議にて連絡します。